

第5回関西支部研修会に参加して/CISJ

Ni-Tiファイルを用いた実習/歯内療法

講師：木ノ本 善史(大阪大学歯学部臨床教授)

日時：平成24年11月25日(日)

場所：白水貿易株式会社 大阪本社



橋爪 章 (兵庫県)

平成24年11月25日(日)に大阪の白水貿易株式会社大阪本社の5階において、第5回関西支部研修会が行われましたので、その報告を致します。

今回は木ノ本善史先生をお招きして、第3回関西支部研修会の歯内療法講演会の続編として、Ni-Tiファイルを用いた実習を行いました。

FKG Raceを用いた根管拡大の方法、理想的な根管充填を行う為のポイントをご教授頂きました。根管充填後の抜去歯牙をディスクにて水平断して、GPが緊密に充填されているかの確認も行いました。意外に充填しきれていない死腔が残っているのに驚きました。予後の良好な根管治療を行う為には、いかにトランスポーテーションを起こさない根管拡大を行い、感染物質を徹底的に除去し、緊密な充填を行うことが大事かを再認識しました。

現在、予後に不安の残る歯牙に対しては、抜歯してインプラント治療というのが一般的になって来ています。そんな流れの中で、いかに歯牙を保存できるか、その為にどれだけ根管治療をしっかりと行うことが大事か、歯科医師として考えさせられました。インプラント治療を行うものだからこそ、出来るだけ歯牙の保存を心掛け、安易な抜歯は避けるべきだと思います。

今回はインプラントではなく、根管治療という日常の臨床で頻度の高い治療がテーマの講義で、基礎的な知識の確認からアドバンスなテクニックまで大変有意義な研修会となりました。

最後になりましたが、このような研修会を準備して頂いたCISJ関西支部の先生方に感謝致します。



第 5 回関西支部研修会

